

資料 4-2

小中一貫教育における教員数の維持についての考え方

教員負担や学校の規模感を維持することによる教員数の維持について

複式学級 = 2学年で教員1人の配置 ※1人で2学年分の授業準備が必要

例) 小中連携校 「4・3・2」の場合

中学校が1学年1クラスの場合

小学校						中学校		
1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生
第1段階 ＜＜基礎期＞＞				第2段階 ＜＜充実期＞＞		第3段階 ＜＜発展期＞＞		

教科担任制の導入

